

2023年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月13日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7805 URL <https://printnet.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田原 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 小田原 一誠 (TEL) 050-3734-6495
 定時株主総会開催予定日 2023年11月27日 配当支払開始予定日 2023年11月28日
 有価証券報告書提出予定日 2023年11月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期の業績 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期	9,629	11.3	691	25.4	689	20.4	419	4.0
2022年8月期	8,648	—	551	—	572	—	403	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年8月期	86.25	—	12.0	9.3	7.2
2022年8月期	81.25	—	12.6	8.1	6.4

(参考) 持分法投資損益 2023年8月期 ー百万円 2022年8月期 ー百万円

(注) 決算期変更に伴い、2021年8月期 (2020年11月1日から2021年8月31日) と2022年8月期 (2021年9月1日から2022年8月31日) は期間が異なるため、2022年8月期の対前年同期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期	7,412	3,632	48.9	750.90
2022年8月期	7,455	3,380	45.3	681.73

(参考) 自己資本 2023年8月期 3,626百万円 2022年8月期 3,376百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年8月期	898	△362	△499	1,039
2022年8月期	588	△909	304	1,002

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00	49	12.3	1.5
2023年8月期	—	0.00	—	12.00	12.00	57	13.9	1.7
2024年8月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		16.0	

3. 2024年8月期の業績予想 (2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,976	7.2	280	△13.5	280	△13.3	173	△13.6	36.01
通期	9,965	3.5	584	△15.4	584	△15.2	362	△13.7	75.03

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年8月期	5,460,400株	2022年8月期	5,460,400株
2023年8月期	631,448株	2022年8月期	507,548株
2023年8月期	4,868,336株	2022年8月期	4,970,227株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴う行動制限や水際対策の緩和により、景気は緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、円安の進行や金融引き締め、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・原材料価格の高騰、為替相場の変動等、経済の見通しは依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の当事業年度における売上高は9,629,680千円となり前年同期比980,996千円の増収、営業利益は691,520千円で前年同期比139,885千円の増益、経常利益は689,500千円で前年同期比116,938千円の増益、当期純利益は419,882千円で前年同期比16,030千円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ネット印刷通信販売事業

当事業年度において、印刷売上高は9,387,592千円で前年同期比796,176千円の増収、内、大口得意先への印刷売上高は3,662,386千円で前年同期比231,848千円の増収、大口得意先以外の会員への印刷売上高は5,725,205千円で前年同期比564,328千円の増収となりました。また、新規会員数は15,458社（予想における通期累計新規会員数に対する進捗率134.2%）であり、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの当事業年度における平均売上高は27,737円となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は4,021円となっております。

印刷業界におきましては、コロナ禍における生活様式の変化に伴いWEB会議システム等を利用したオンラインでのコミュニケーションが増加したことや、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料費やエネルギー価格の高騰が重なり、厳しい経営環境となっております。しかし、ネット印刷通販業界はコロナ禍以前の5年間において毎年10%程度市場が拡大したと言われており、新型コロナウイルス感染症の影響に関しても、印刷業界全体に比べ印刷需要の落ち込みは少なかったと考えております。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、将来に向けて、売上拡大や顧客の囲い込み、生産管理体制に対応できることを目的とした次世代基幹システムの構築を行っております。

また、従業員の多能工化による人員の適正化及び効率化を行い、営業利益の改善につなげました。なお、当事業年度末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は9,469,363千円で前年同期比820,679千円の増収、セグメント利益は880,268千円で前年同期比256,541千円の増益となっております。

② その他の事業

その他の事業の売上高は160,317千円で前年同期比160,317千円の増収、セグメント損失は38,256千円（前事業年度は3,837千円の損失）です。当該損失の主たる要因は事業譲受に係るアドバイザーフィー等によるものであります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は2,755,333千円となり、前事業年度末に比べ135,660千円増加いたしました。その主な要因は、原材料及び貯蔵品が112,815千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は4,656,846千円となり、前事業年度末に比べ178,740千円減少いたしました。その主な要因は、減価償却費の計上により機械及び装置が331,593千円減少したこと及び土地が61,235千円増加したこと並びにのれんが93,498千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当事業年度末における資産合計は7,412,180千円となり、前事業年度末に比べ43,079千円減少いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は2,460,547千円となり、前事業年度末に比べ22,425千円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が31,482千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は1,319,166千円となり、前事業年度末に比べ317,573千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が298,431千円減少したこと等によるものであります。

この結果、当事業年度末における負債合計は3,779,713千円となり、前事業年度末に比べ295,148千円減少いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は3,632,467千円となり、前事業年度末に比べ252,068千円増加いたしました。その主な要因は、剰余金の配当による107,475千円減少及び自己株式の取得及び処分により77,482千円減少したものの、当期純利益を419,882千円計上したことによる増加等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ36,558千円増加し、1,039,208千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、898,993千円の収入（前事業年度は588,835千円の収入）となりました。これは主に、減価償却費531,315千円及び税引前当期純利益の計上658,031千円等の増加要因があったものの、棚卸資産の増加額126,593千円、法人税等の支払額294,287千円等の減少要因があったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、362,472千円の支出（前事業年度は909,914千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出196,585千円及び無形固定資産の取得による支出154,913千円等の減少要因によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、499,962千円の支出（前事業年度は304,761千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出608,930千円等の減少要因があったことによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年8月期	2023年8月期
自己資本比率 (%)	45.3	48.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.5	48.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.2	2.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	62.7	86.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、2024年8月期には新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い経済活動の制限がこれまで以上に緩和されるものと考えております。印刷需要全体につきましても、インバウンド需要が回復することで、コロナ禍以前の状態まで戻っていくものと見ております。

当社としましては、売上高の更なる増加を目指すために、広告宣伝活動を再開し、販売体制の強化を図ってまいります。また、売上高及び生産高の増加を目指して次世代基幹システムの構築を行っております。

2024年8月期通期の売上高の予想は9,965百万円であり、新規会員数は広告宣伝活動による新規会員獲得15,204社（2024年8月期期末累計会員数224,986社）の獲得を目指しております。また、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの通期の平均売上高は27,494円を見込んでおります。広告宣伝費については、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における費用として4,477円を見込んでおります。

また、印刷用紙については、2023年8月期に値上りしましたが、2024年8月期も同水準で推移するものと見ております。

以上から、2024年8月期の業績につきましては、売上高9,965百万円、営業利益584百万円、経常利益584百万円、当期純利益362百万円を予想しております。

我が国の経済、金融の情勢によっては、業績が変動する可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示させていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針です。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,002,649	1,039,208
受取手形	6,684	7,710
売掛金	688,165	762,915
商品及び製品	8,226	19,195
仕掛品	19,704	22,513
原材料及び貯蔵品	537,013	649,828
前払費用	29,253	30,101
未収入金	229,619	224,375
その他	99,004	1,485
貸倒引当金	△649	△2,000
流動資産合計	2,619,673	2,755,333
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,448,618	1,474,958
減価償却累計額	△442,822	△519,752
建物(純額)	1,005,796	955,205
構築物	128,074	154,711
減価償却累計額	△64,804	△72,623
構築物(純額)	63,270	82,087
機械及び装置	4,095,338	4,134,218
減価償却累計額	△2,067,520	△2,437,992
機械及び装置(純額)	2,027,818	1,696,225
車両運搬具	77,799	79,519
減価償却累計額	△55,395	△64,033
車両運搬具(純額)	22,404	15,486
工具、器具及び備品	171,842	186,438
減価償却累計額	△132,195	△148,923
工具、器具及び備品(純額)	39,646	37,514
土地	1,179,268	1,240,504
建設仮勘定	45,800	41,778
有形固定資産合計	4,384,005	4,068,802
無形固定資産		
のれん	51,960	145,458
商標権	250	56
ソフトウェア	4,952	10,229
その他	111,137	117,723
無形固定資産合計	168,300	273,467
投資その他の資産		
出資金	75	75
投資有価証券	48,018	68,357
破産更生債権等	11,522	18,659
長期前払費用	42,366	37,094
繰延税金資産	70,579	72,934
その他	122,242	126,115
貸倒引当金	△11,521	△8,659
投資その他の資産合計	283,281	314,576
固定資産合計	4,835,587	4,656,846
資産合計	7,455,260	7,412,180

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当事業年度 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	643,569	675,051
短期借入金	600,000	538,580
1年内返済予定の長期借入金	587,498	576,999
未払金	196,997	213,096
未払費用	101,070	107,849
未払法人税等	200,000	151,000
前受金	2,780	5,229
預り金	23,193	23,066
賞与引当金	51,793	59,563
その他	31,218	110,112
流動負債合計	2,438,122	2,460,547
固定負債		
長期借入金	1,264,894	966,463
ポイント引当金	32,074	12,506
退職給付引当金	106,003	113,335
役員退職慰労引当金	5,145	5,745
長期未払金	207,325	200,304
その他	21,296	20,811
固定負債合計	1,636,739	1,319,166
負債合計	4,074,861	3,779,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金		
資本準備金	795,722	795,722
その他資本剰余金	2,024	1,917
資本剰余金合計	797,747	797,639
利益剰余金		
その他利益剰余金		
圧縮積立金	16,385	16,385
繰越利益剰余金	2,034,149	2,346,556
利益剰余金合計	2,050,535	2,362,942
自己株式	△285,553	△363,035
株主資本合計	3,378,451	3,613,269
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,961	12,781
評価・換算差額等合計	△1,961	12,781
新株予約権	3,908	6,416
純資産合計	3,380,398	3,632,467
負債純資産合計	7,455,260	7,412,180

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
売上高		
印刷売上高	8,591,415	9,387,592
印刷資材売上高	53,256	77,760
その他売上高	4,011	164,328
売上高合計	8,648,684	9,629,680
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	7,384	8,226
当期商品仕入高	—	86,484
当期製品製造原価	6,575,323	7,192,327
合計	6,582,708	7,287,038
商品及び製品期末棚卸高	8,226	19,195
商品及び製品売上原価	6,574,481	7,267,843
印刷資材売上原価	51,138	75,225
売上原価合計	6,625,620	7,343,068
売上総利益	2,023,063	2,286,612
販売費及び一般管理費	1,471,428	1,595,091
営業利益	551,635	691,520
営業外収益		
受取利息	51	61
受取配当金	3,483	2,799
受取賃貸料	9,937	10,020
受取補償金	21,345	—
その他	2,227	1,980
営業外収益合計	37,045	14,861
営業外費用		
支払利息	8,600	9,774
賃貸費用	1,714	1,673
支払賃借料	2,075	718
その他	3,728	4,715
営業外費用合計	16,117	16,881
経常利益	572,562	689,500
特別利益		
固定資産売却益	832	—
保険解約返戻金	58,507	—
特別利益合計	59,340	—
特別損失		
固定資産除却損	1,176	5,017
減損損失	—	26,451
特別損失合計	1,176	31,469
税引前当期純利益	630,726	658,031
法人税、住民税及び事業税	219,260	246,099
法人税等調整額	7,614	△7,951
法人税等合計	226,874	238,148
当期純利益	403,852	419,882

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)		当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		3,683,661	56.0	4,163,988	57.5
II 労務費		1,271,032	19.3	1,298,500	17.9
III 外注加工費		533,509	8.1	653,098	9.0
IV 経費	※1	1,086,560	16.5	1,128,466	15.6
当期総製造費用		6,574,764	100.0	7,244,053	100.0
期首仕掛品棚卸高		22,125		19,704	
合計		6,596,890		7,263,758	
期末仕掛品棚卸高		19,704		22,513	
他勘定振替高	※2	1,861		48,917	
当期製品製造原価		6,575,323		7,192,327	

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円) (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (千円) (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
減価償却費	475,868	462,274
水道光熱費	193,599	239,705
修繕費	77,974	112,028
消耗品費	151,228	148,987
租税公課	43,515	46,791
保守管理費	77,178	80,695
地代家賃	10,302	9,897

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円) (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (千円) (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
印刷資材売上原価	—	46,415
販売促進費 (販売費及び一般管理費)	931	1,410
ソフトウェア仮勘定 (無形固定資産)	930	1,090
計	1,861	48,917

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					特別償却準備金	圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	815,722	795,722	1,263	796,985	525	16,385	1,679,405	1,696,317
当期変動額								
特別償却準備金の取崩					△525		525	—
剰余金の配当							△49,633	△49,633
当期純利益							403,852	403,852
自己株式の取得								
自己株式の処分			761	761				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	761	761	△525	—	354,744	354,218
当期末残高	815,722	795,722	2,024	797,747	—	16,385	2,034,149	2,050,535

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△278,399	3,030,625	1,880	1,880	—	3,032,506
当期変動額						
特別償却準備金の取崩		—				—
剰余金の配当		△49,633				△49,633
当期純利益		403,852				403,852
自己株式の取得	△22,223	△22,223				△22,223
自己株式の処分	15,069	15,830				15,830
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			△3,841	△3,841	3,908	66
当期変動額合計	△7,154	347,825	△3,841	△3,841	3,908	347,892
当期末残高	△285,553	3,378,451	△1,961	△1,961	3,908	3,380,398

当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	815,722	795,722	2,024	797,747	16,385	2,034,149	2,050,535
当期変動額							
剰余金の配当						△107,475	△107,475
当期純利益						419,882	419,882
自己株式の取得							
自己株式の処分			△107	△107			
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	△107	△107	—	312,406	312,406
当期末残高	815,722	795,722	1,917	797,639	16,385	2,346,556	2,362,942

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△285,553	3,378,451	△1,961	△1,961	3,908	3,380,398
当期変動額						
剰余金の配当		△107,475				△107,475
当期純利益		419,882				419,882
自己株式の取得	△80,137	△80,137				△80,137
自己株式の処分	2,654	2,547				2,547
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			14,743	14,743	2,507	17,251
当期変動額合計	△77,482	234,817	14,743	14,743	2,507	252,068
当期末残高	△363,035	3,613,269	12,781	12,781	6,416	3,632,467

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	630,726	658,031
減価償却費	517,976	531,315
減損損失	—	26,451
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	265	△1,511
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	7,769
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△48,205	△19,568
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20,270	7,332
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	600	600
受取利息及び受取配当金	△3,534	△2,860
支払利息	8,600	9,774
保険解約返戻金	△58,507	—
支払手数料	177	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△832	—
固定資産除却損	1,176	5,017
受取補償金	△21,345	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△90,721	△64,735
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△133,771	△126,593
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,050	31,482
未払金の増減額 (△は減少)	16,078	16,098
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△71,819	24,829
その他	△74,335	97,409
小計	668,746	1,200,842
利息及び配当金の受取額	3,527	2,858
利息の支払額	△9,384	△10,420
補償金の受取額	21,345	—
法人税等の支払額	△95,561	△294,287
法人税等の還付額	161	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,835	898,993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△886,314	△196,585
有形固定資産の売却による収入	1,000	—
無形固定資産の取得による支出	△79,967	△154,913
敷金及び保証金の差入による支出	△14,073	△3,941
敷金及び保証金の回収による収入	11,145	13,216
保険積立金の積立による支出	△16,938	△16,938
保険積立金の解約による収入	79,458	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	344	94
その他	△4,568	△3,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△909,914	△362,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	1,080,000
短期借入金の返済による支出	—	△1,141,420
長期借入れによる収入	500,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△723,447	△608,930
配当金の支払額	△49,567	△49,475
自己株式の取得による支出	△22,223	△80,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	304,761	△499,962
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,317	36,558
現金及び現金同等物の期首残高	1,018,967	1,002,649
現金及び現金同等物の期末残高	1,002,649	1,039,208

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、財務諸表に与える影響はありません。

（持分法損益等）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、インターネットによる受注を中心とした印刷物及び印刷資材の通信販売を提供する事業である、「ネット印刷通信販売事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

なお、当社では事業セグメントへの資産の配分は行っておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	8,591,415	8,591,415	—	8,591,415	—	8,591,415
資材売上高	53,256	53,256	—	53,256	—	53,256
その他売上高	4,011	4,011	—	4,011	—	4,011
顧客との契約から生じる収益	8,648,684	8,648,684	—	8,648,684	—	8,648,684
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,648,684	8,648,684	—	8,648,684	—	8,648,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,648,684	8,648,684	—	8,648,684	—	8,648,684
セグメント利益又は損失(△)	623,726	623,726	△3,837	619,889	△68,254	551,635
その他の項目						
減価償却費	489,362	489,362	—	489,362	3,350	492,713
のれん償却額	24,000	24,000	—	24,000	—	24,000
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	879,165	879,165	—	879,165	—	879,165

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業です。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△68,254千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) その他の項目の減価償却費の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	9,387,592	9,387,592	—	9,387,592	—	9,387,592
資材売上高	77,760	77,760	—	77,760	—	77,760
その他売上高	4,011	4,011	160,317	164,328	—	164,328
顧客との契約から生じる収益	9,469,363	9,469,363	160,317	9,629,680	—	9,629,680
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,469,363	9,469,363	160,317	9,629,680	—	9,629,680
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,469,363	9,469,363	160,317	9,629,680	—	9,629,680
セグメント利益又は損失(△)	880,268	880,268	△38,256	842,012	△150,491	691,520
その他の項目						
減価償却費	474,525	474,525	4,120	478,646	3,350	481,997
のれん償却額	24,000	24,000	23,957	47,957	—	47,957
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	130,923	130,923	209,115	340,038	—	340,038

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等です。

2. 調整額は次のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額△150,491千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) その他の項目の減価償却費の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又は損失は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ラクスル株式会社	2,633,237	ネット印刷通信販売事業

当事業年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ラクスル株式会社	2,714,804	ネット印刷通信販売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	ネット印刷 通信販売事業	その他	全社（共通）	合計
減損損失	—	26,451	—	26,451

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

(単位：千円)

	ネット印刷 通信販売事業	その他	全社（共通）	合計
当期償却額	24,000	—	—	24,000
当期末残高	51,960	—	—	51,960

当事業年度（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	ネット印刷 通信販売事業	その他	全社（共通）	合計
当期償却額	24,000	23,957	—	47,957
当期末残高	27,960	117,498	—	145,458

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

該当事項はありません。

当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり純資産額	681.73円	750.90円
1株当たり当期純利益	81.25円	86.25円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	－円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)	当事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益 (千円)	403,852	419,882
普通株主に帰属しない金額 (千円)	－	－
普通株式に係る当期純利益 (千円)	403,852	419,882
普通株式の期中平均株式数 (株)	4,970,227	4,868,336
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額 (千円)	－	－
普通株式増加数 (株)	－	－
(うち新株予約権 (株))	(－)	(－)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2016年10月17日開催の取締役会決議による第1回新株予約権 新株予約権の数 615個 (普通株式 61,500株) 2021年10月14日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 432個 (普通株式 43,200株)	2021年10月14日開催の取締役会決議による第2回新株予約権 新株予約権の数 432個 (普通株式 43,200株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。